



2025年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社メディopalホールディングス
代表者名 代表取締役社長 渡 辺 秀 一
(コード番号 7459 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 左 近 祐 史
(TEL. (03) 3517-5171)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状分析を行い、改善に向けた方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

記

1. 2027メディopal中期ビジョンにおける指標

当社は、2027年3月期を最終年度とする「2027メディopal中期ビジョン Change the 卸 Forever ～たゆまぬ変革を～」(以下、「2027メディopal中期ビジョン」)を公表しています。2027メディopal中期ビジョンではROE 9%を目標に掲げており、資本コストや株価を意識し、PBRの向上を図るためにはROEの改善が不可欠と認識しております。

2. 現状分析

当社のPBRは、直近の5年間において1.0倍を下回る状態が継続しています。

2025年3月期においてROEは6.6%です。一方、資本コスト(*)は4%後半から5%半ばと認識しているものの、株式益利回りは7%前半から8%前半の水準です。

従って、ROEは、資本コストと株式益利回りの間にある状態です。

*当社は、WACC(加重平均資本コスト)を資本コストとして認識しております。

3. PBRの向上に向けた実行中の施策の概要

上記の現状分析を踏まえ、PBRの向上に向けて、ROEの改善を重視しつつ、PERの改善も併せて推進するため、以下の施策を引き続き、実行してまいります。

(1) 収益率・成長力の強化

2027メディopal中期ビジョンに掲げる成長戦略の遂行

(2) 経営資源の適切な配分

積極的な成長投資・設備投資と着実な株主還元の実行

- (3) 人的資本を中心とした非財務資本の充実
成長戦略と連動した人材戦略の推進
- (4) I R・S R活動のさらなる充実
当社戦略の実行状況の定期的開示ならびにブランドサイトでの個人投資家への情報
発信の強化

以 上

添付資料

2025年5月13日

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

 株式会社 メディパルホールディングス

【将来の見通しに関する注意事項】

本資料には、メディパルグループの事業および展望などの将来の見通しに関する記述が含まれておりますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての現時点におけるメディパルグループによる分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により、現在の見通しと異なる可能性があります。

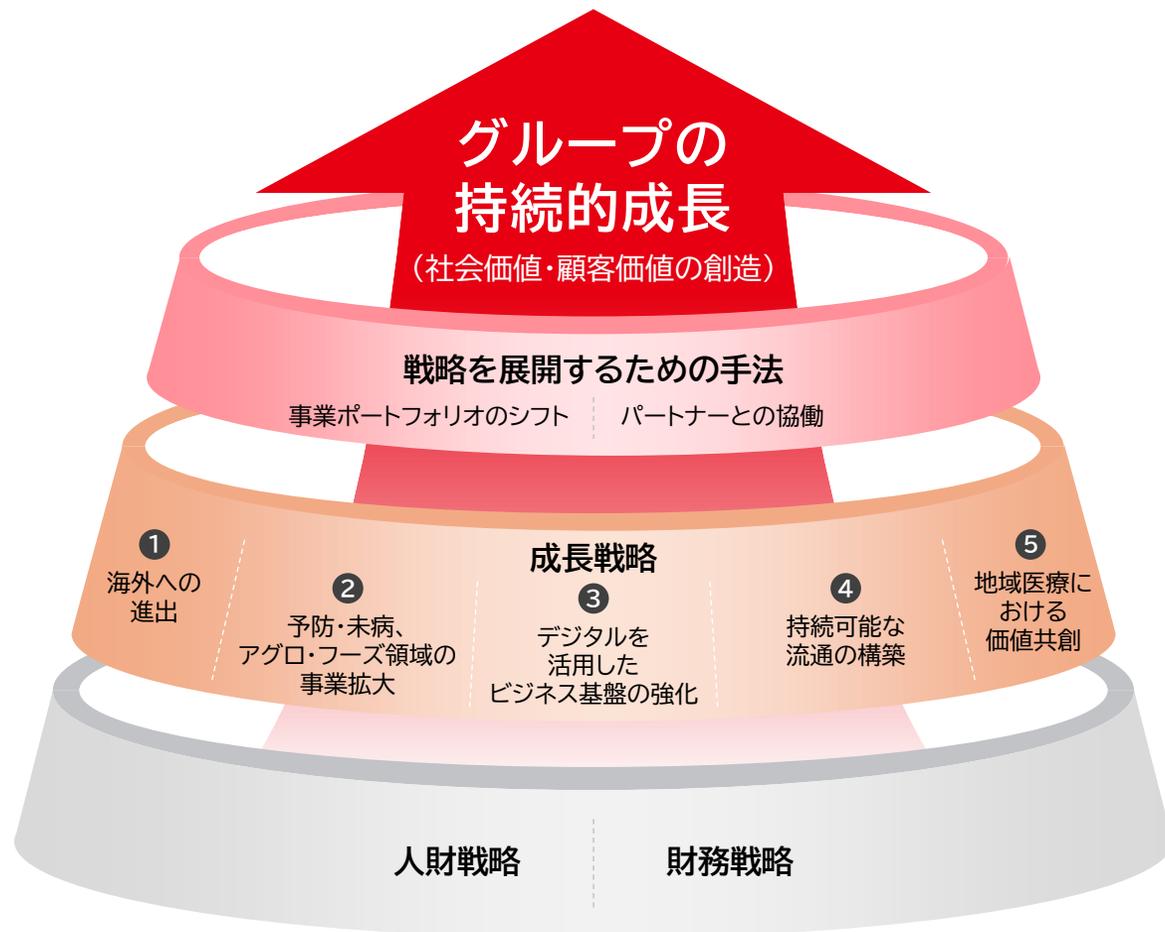


2027メディパル中期ビジョンにおける指標

2022年10月に2023年3月期～2027年3月期を対象とする「2027メディパル中期ビジョン」を公表

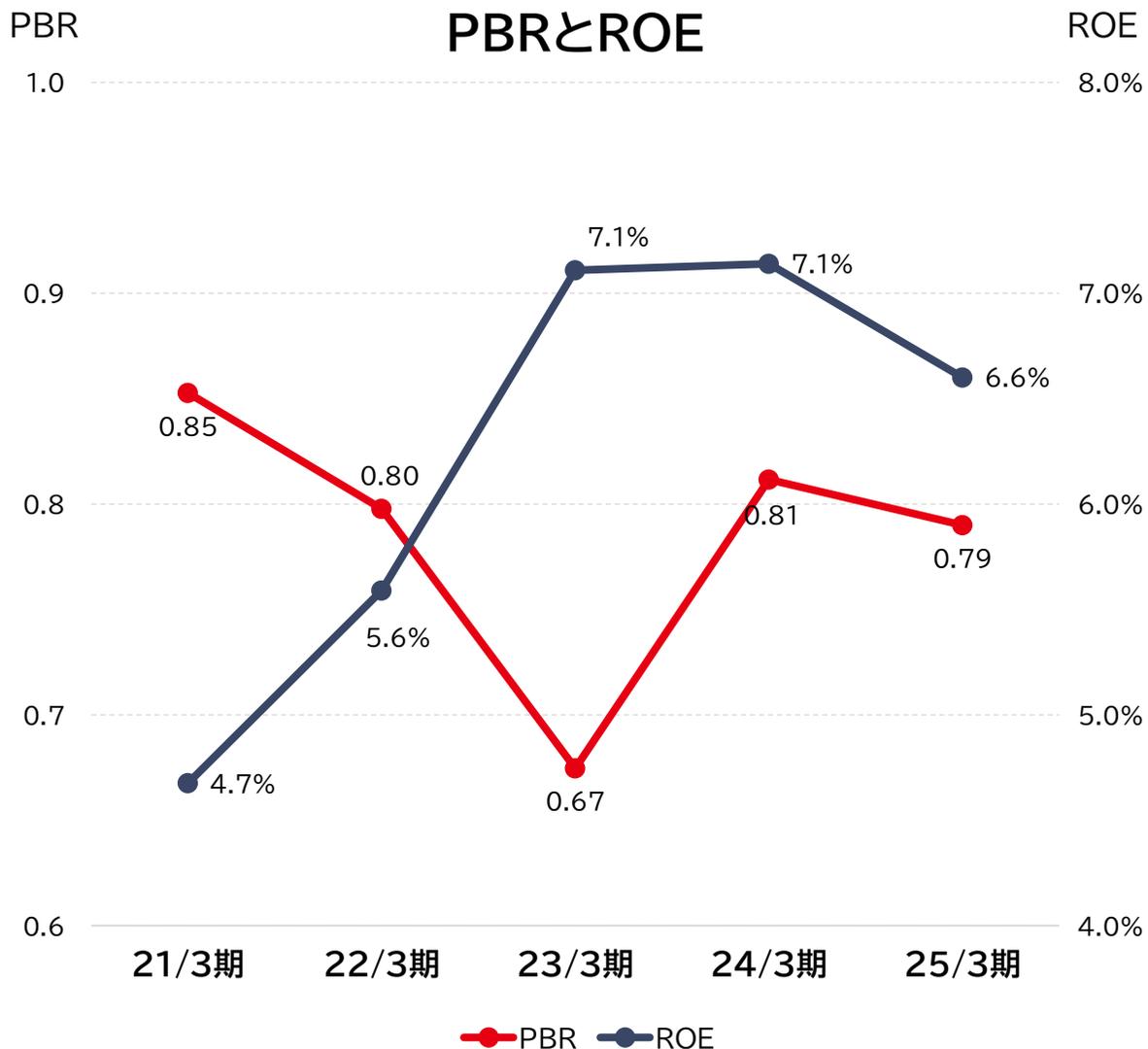
資本コストや株価を意識した経営に当たり、PBRの向上を図るためROEの改善を重視する

全体成長イメージ





現状分析



- PBRは1.0倍を下回る状態が継続
- ROE(2025年3月期)は6.6%
- WACCによる資本コスト(*1)は、4%後半～5%半ば
- 株式益利回りは、7%前半～8%前半
- ROEは、WACCによる資本コストと株式益利回りの間にある状態

PBR = ROE (収益率) × PER (成長期待)
⇒ 収益率の改善と成長期待の改善によって、PBRの向上を図る

*1) $WACC (\%) = \text{株主資本コスト} \times \text{株主資本} \div (\text{有利子負債} + \text{株主資本}) + \text{負債コスト} \times (1 - \text{実効税率}) \times \text{有利子負債} \div (\text{有利子負債} + \text{株主資本})$

※ CAPM(資本資産評価モデル)理論に基づく手法で算出



PBRの向上に向けた実行中の施策の概要

現状分析を踏まえ、PBRの向上を図るため、
ROEの改善を重視しつつ、PERの改善も併せて推進

PBRの向上

ROEの改善

目標 **9%**

〔 2027メディパル
中期ビジョン 〕



PERの改善

施策の概要

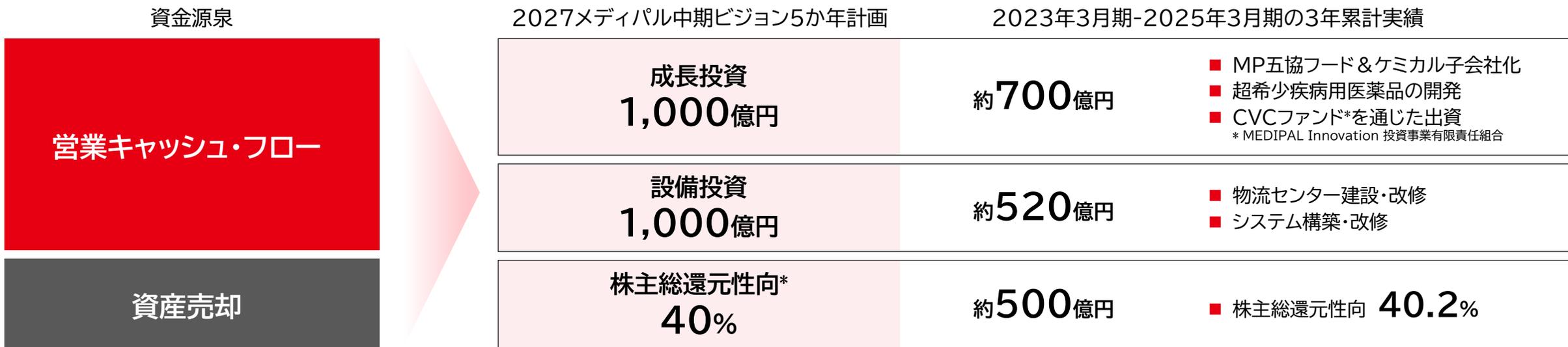
- 1 収益性・成長力の強化**
 - 2027メディパル中期ビジョンに掲げる成長戦略の遂行（5ページ）
- 2 経営資源の適切な配分**
 - 積極的な成長投資・設備投資と着実な株主還元の実行（6ページ）
- 3 人的資本を中心とした非財務資本の充実**
 - 成長戦略と連動した人材戦略の推進（7ページ）
- 4 IR・SR活動のさらなる充実**
 - 当社戦略の実行状況の定期的開示ならびにブランドサイトでの個人投資家への情報発信の強化（8ページ）



経営資源の適切な配分

積極的な成長投資・設備投資と着実な株主還元の実行

2027メディパル中期ビジョンにおける方針と3年間の実績

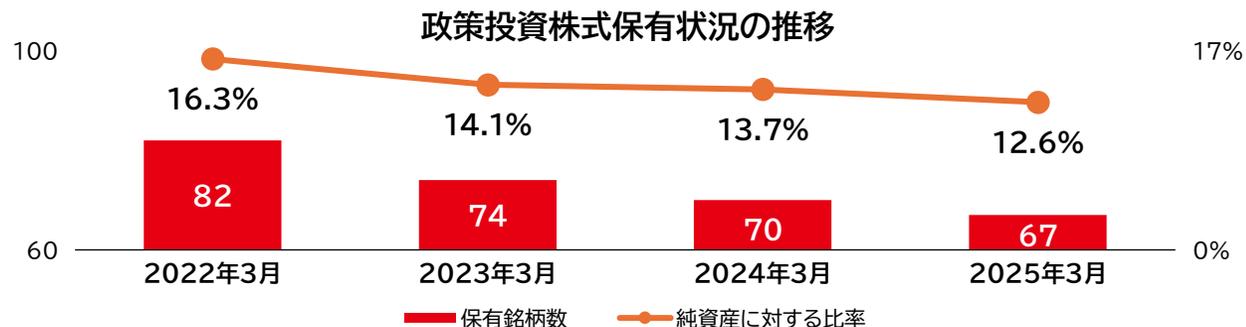


* 中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生するのれん償却費・無形資産償却費控除前利益に対する率

政策投資株式の保有状況

2027年3月末を目途に、保有残高を純資産の10%以下、かつ、500億円以下まで削減する方針

(2025年3月末の政策投資株式の残高:約950億円)





人的資本を中心とした非財務資本の充実

成長戦略と連動した人材戦略の推進

人材戦略

ありたい人材像

未来志向型人材

ありたい組織像

創造性豊かな企業文化の醸成／多様な人材活躍

ありたい人材ポートフォリオ

実現のための施策（2024年度の状況）

採用

- 未来志向型人材採用の仕組みの検討
- 高度専門人材の採用

育成

- 未来志向型人材育成体系の構築・運用
- タレントマネジメントの仕組み構築・運用
- 次世代リーダー研修の企画・実施

配置

- 戦略的な最適人材配置
- キーポジションにおけるジョブディスクリプションの策定・運用の検討

評価・報酬

- 未来志向型人材育成のためのグループ共通人事評価制度の導入

組織文化・風土の醸成

- エンゲージメント向上(職場風土調査の実施)
- ダイバーシティ&インクルージョン推進
- 健康管理(健康経営優良法人の認定取得)
- 働きやすい職場環境作り
- 人権保護の取組み(人権方針の制定)

人材プラットフォーム

人材データベースの導入・活用(人材情報の一元化・可視化・分析)



IR・SR活動のさらなる充実

当社戦略の実行状況の定期的開示ならびにブランドサイトでの個人投資家への情報発信の強化

活動状況	2024年度における主な取り組み
ディスクロージャーポリシーの作成・公表	「情報開示の基本方針」に基づくプレスリリース数:45件
個人投資家向けに説明会を開催	札幌(10月) 参加者:約50人
アナリスト・機関投資家向けに定期的に説明会を開催	<ul style="list-style-type: none">■ 決算説明会(Web)開催(5月、11月)■ アナリスト・機関投資家との面談 86回
海外投資家向けに説明会を開催	<ul style="list-style-type: none">■ 証券会社主催カンファレンス参加(2月) 面談数:機関投資家5社■ 証券会社主催スモールミーティング参加(3月)参加者:機関投資家10社
IR資料のホームページ掲載	<ul style="list-style-type: none">■ 決算関係資料の和英同時開示への対応■ 決算関係資料、サステナビリティ情報、統合報告書の充実■ ブランドサイトの開設による事業活動に関する情報の強化
IRに関する部署(担当者)の設置	広報部によるIR機能および人材の継続的強化
その他	アナリスト・機関投資家に対するアンケート調査・ヒアリングを実施(3月)

経営への
フィードバック

- 取締役会に対しては、随時IR担当役員から特記事項を報告
- 社長、役員には、IR担当部門から随時報告
- 関連業務部門へは、社内定例会議にてIR担当部門から報告

経営への反映

- Scope3の目標設定の要望に対応するため検討を開始

